

主なご発言内容（令和8年度 第1回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）

地域自主防災力を強化していくにあたっては地域での防災訓練が効果的と考えるが、地域自主防災組織の担い手が固定化する傾向にあり、今後担い手不足が懸念されるため、防災訓練以外で地域自主防災力を強化するには、地域としてどのような取組が効果的と考えるかご意見を伺いたい。

○主なご意見など

ご発言内容		委員名
地域自主防災力強化	防災訓練を行った際、自宅避難ができている人には玄関先に白いタオルをかけてもらうようにしているが、なかなか皆さんに浸透できていない状況である。回覧板のほか、ホームページに掲載することなどで認識が広がっていけばいいと感じている。	渡辺委員
	毎年2月の生野区防災訓練に参加しており、地域としても熱心に活動していると思うが、防災リーダーが少し存在感が薄いと感じているので、おそろいのユニフォームを着て仮設トイレの設営をしたり、ポンプを動かすなどのパフォーマンスをもっとやっていきたいと思う。	安藤委員

○ご発言に対して、会議当日区役所より回答したもの

ご発言内容		委員名	区の考え方	担当課
地域自主防災力強化	いろいろなところで災害があった時に、防災リーダーの方などが活躍されると思うが、広範な災害があった時に機能しないことがたくさんあると思う。防災のことを全く理解していない人に、防災の活動をやっていたとしても、行政側や防災リーダーがイメージしていることと、まったく防災のことがわからないが、こんなことなら協力ができるという人や、もしくは災害により助けて欲しいという人がうまく繋がらないイメージがあります。どういことをすると皆が助かるのか、どういことをして欲しいのかというのを、行政側や防災リーダーの方々がうまく伝えていただければいいのかなというのを教えていただきたい。	中村（一）委員	発災時の避難所運営については、地域防災リーダーが先頭に立ち、避難所にこられた方とともに運営をしていただきたいと考えております。 （以下追記）生野区では、発災時に物品や役務の供出などの協力をいただける企業の登録や、災害時に一人で避難することが困難な方の安否確認などに利用する名簿の作成を行っています。一方地域では、地域防災リーダーを先頭に、避難所開設や運営訓練を地域が主体となって毎年実施していただいております。情報共有をするため、区役所の本部機能と各避難所をつなぐ無線訓練なども同時に行っております。これらの防災活動や情報について、広く生野区に関わる方にも伝わるように、広報紙やホームページなどのほか、地震への対応方法など、防災に関する知識が学べる防災動画などを通じて、周知に努めてまいります。	地域まちづくり課 （安心まちづくり）
その他の主なご発言内容		委員名	区の考え方	担当課
まちづくり協議会	地域のホームページの更新などについてフォローが足りないと感じている。防災マップについてもここ10年ほど更新がなされていない。	長谷川委員	今回いただいたご意見もまちづくりセンターと共有して、各まちづくり協議会の取組を支援していきます。 （以下追記）また、防災マップについて、生野区内の地域のうち、毎年2か所をめどに更新を図っておりますが、更新時期の間隔が空きすぎるという課題について、今後地域の皆さまとの意見交換を行い、更新手法について検討してまいります。	地域まちづくり課 （地域まちづくり・安心まちづくり）
多言語表記	普段町中を歩いていても多言語表記が少ないと感じている。道路やお店の案内など、もう少し多言語表記を増やしていけるような取組が必要ではないか。	中村（一）委員	「やさしい日本語」ステッカーなど店舗に協力いただくなどの取組を行っているところですが、他部局とも調整してまいりたいと考えておりますので、引き続き皆さまからのご意見を頂戴したいと思います。また、5月より区役所4階に「多文化総合相談窓口」を設置しており、増え続ける外国人住民の方への対応をしっかりと行ってまいります。	総務課 （区政推進）

主なご発言内容 （令和8年度 第1回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

○ご発言に対して、改めて区役所より回答するもの

ご発言内容	委員名	区の考え方	担当課
地域自主防災力強化	先日防災訓練を行った際、実際に集まっても「どうするのか」ということが非常に多かった。大勢の人が集まるのに指示命令系統が全く整っておらず誰が指揮しているのかわかりにくい。行政の方や防災リーダーは、違う色のユニフォームを着るなど、識別できるものから考えていく必要があると感じた。	玉井委員 地域防災リーダーにつきまして、災害時には初動体制をとり、安心して活動いただけるよう、明確な位置付けとするため、生野区では、令和8年度より、これまでの「認定」ではなく、防災活動にかかる活動を区長が依頼する「委嘱」を行うこととしました。さらに、装備品や生野区地域防災リーダー証を交付し、地域防災リーダーとして認知され、円滑な運営が図られるよう努めております。また、各避難所に、避難所運営者であることが識別できるビブス等の配備についても進めています。	地域まちづくり課 (安心まちづくり)
	19校区すべて事情が違う中で、均一的なやり方では防災力の強化にはつながらない。今回防災リーダーが委嘱されたが、各地域にあったやり方を自分たちで工夫して行っていくべき。防災に関する専門的な事項について各地域で自主的に取り組んでいくことになったと認識している。活動に際して必要な物品の購入などお金が必要となってくるので、来年度は予算を確保していただきたい。また、防災リーダーに委嘱したということで地域防災と行政のそれぞれの立場を明確にすべきと思っており、例えば区役所が区民向けYouTubeチャンネルをつくり、そこで防災情報を発信し、防災リーダーが各地域に周知を図っていくといったアプローチすることで地域防災の強化につながっていくと思っている。	森口委員 地域防災の強化の観点から、これまで、地域防災リーダー制度を紹介する動画や、防災備蓄物資、キッチン防災、地震への対応方法など、防災に関する知識を学べる防災動画を作成し、周知に努めてまいりました。さらに、地域防災リーダーに周知いただける例えば避難所開設のポイントなど、今後も、地域でのご活用の一助になる新たな動画作成を行ってまいりたいと考えております。	
	見守り隊について、担い手が不足している状況であるが、こちらも各地域でどのような保険に入り、どのような活動をしているのか状況が違うため、組織として方向性など行政で整理していただきたいと感じた。	森口委員 登下校の見守り隊について、地域によって成り立ちや担い手の組織・構成員が違うことは認識していますが、生野区としましても、見守り隊の本来の目的である子どもたちの通学路の安全確保のため、各関係機関と連携しながら検討を行ってまいります。	地域まちづくり課 (安心まちづくり)

主なご発言内容（令和8年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）

生野区では広報紙を毎月発行し、全戸ポスティングやHP、SNS上でも区政情報を発信しているが、地域内においても、より多くの方に効果的に区政に関する情報をお伝えする手法などあればご意見を伺いたい。

○ご発言に対して、会議当日区役所より回答したもの

ご発言内容		委員名	区の考え方	担当課
区政に関する情報をより多くの方に効果的に伝える手法について	広報紙に掲載されているQRコードを閲覧した数のカウントは可能なのか。区内小中学校に区役所からポスターの掲示やチラシの配付をお願いすることはもうできないのか。	中村（寛）委員	ホームページの閲覧数はカウントが可能だが、広報紙に掲載しているQRコードの閲覧数の集計は厳しい状況です。学校の先生方も働き方改革により区からのポスター掲示などの依頼も難しい状況です。 (以下追記) 教員の働き方改革により、区単位の事業や行事等のチラシは本市ホームページへの掲載となります。ただし、子どもの安全、安心や進路に関するものに限り、学校長の判断に基づき配布が可能となっております。引き続き、区としてはチラシの内容に応じ、校長と相談しながら進めてまいります。	総務課 （区政推進） 地域まちづくり課 （教育支援）

○ご発言に対して、改めて区役所より回答するもの

ご発言内容		委員名	区の考え方	担当課
区政に関する情報をより多くの方に効果的に伝える手法について	広報紙は毎月すべての世帯に配布しているのでこれ以上の効果を出すのは厳しいと思う。また、全ての世代に効果的に広報するのは現実的に厳しいのでは。年齢層やテーマ別に特化した形でアピールするなどの工夫が必要と思う。やると決めたら継続は力なりで、続けることが大事だと思う。	須郷委員	いただいたご意見を参考に検討してまいります。	総務課 （区政推進）
	広報紙に関しては情報量が多いので、すべての内容に目を通す人は少ないのではないかと。情報量はもう少ししぼるべきではと思う。	平島委員		
	ホームページを閲覧することがあるが、内容まで見に行こうという気持ちにならないので、もっと興味がわく作り方が必要ではないか。また、社会福祉協議会のボランティアに、高齢者の方向けに区政やイベントなどの情報提供をお願いするのはどうだろうか。	大久保委員		
	若い人たちにはSNSやTikTokを活用し、比較的年配層には直接会ってご意見をお伺いするのが効果的かと思う。地域で意見交換会を開けば参加いただける方もいるかなと思う。また、製造業の方は仕事中にラジオをよく聞かれているので、そういった方向けにラジオを活用するのもありかと思う。	松崎委員	ラジオ放送を活用してはどうかというご意見について、どのような媒体が活用できるかも含め検討してまいります。	総務課 （区政推進）
	私もラジオに関しては、仕事中に聞けたり、車の中でも聞けるので活用できないかと以前から思っていた。広報紙にイベントの案内を掲載してもなかなか参加者が集まらないことが多く、以前は町会長さんや連合町会長さんが周知してくれていた部分が少なくなっていると感じている。SNSに関しても反応する世代は限られているな、と普段から感じています。また、地域の広報板も何も貼られていないところが多く活用されていないと感じます。	中村（寛）委員	広報掲示板については、区で設置しているものと地域振興会で設置しているものがございます。区の広報掲示板におきましては、各種行政相談や区実施イベントなどお知らせのほか、掲示の申請をいただき承認したものを貼り出しております。	総務課 （区政推進）

主なご発言内容 （令和8年度 第1回生野区区政会議 こどもの未来部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）

区や地域において様々な子育て相談やイベントが開催されているが、支援を必要としている家庭ほど情報が届きにくい（情報を取りにいかない）傾向が多く見受けられるため、地域内においても、より効果的に支援情報を届ける発信手法あれば意見を伺いたい。

○主なご意見など

ご発言内容		委員名
支援を必要としている家庭への効果的な情報発信手法について	人と人とのつながりが大切なので、防災の勉強会や子ども食堂などに積極的に参加いただけるような仕掛けや声掛けなど地道な活動が大切だと思う。	西村委員
	20年ぐらい前は各町会に子ども会があって、直近で子育てを経験された方から、子育てに関することや教育に関する話を聞くことができていましたから、そういった仕組みづくりができたらいいなと思うが、町会が高齢化していて厳しいというのが正直なところだ。	安委員
	本当に深い相談というのは、SNSなど顔の見えない関係ではできないと思う。やはり繋がりの中から「この人に相談しよう」というようなことができるのではないかなと思う。	西村委員
	私は今自分が営業している店舗を使って日本語サポートをボランティアで行っている。また、小学校の保護者同士でLINEグループを作って情報交換したり、悩み事を解決したりしている。まちの皆が繋がる場所があればいいなと思いながら活動している。	マヤ委員
	個人的に子育てサロンのチラシを持ち歩いて、ベビーカーを押しているお母さんにサロンに来てみないかと声掛けをしている。つながる場所、子どもが遊びに来る場所を町会などで作ってあげたら親とつながることができ、その中に必ず困っている人がいるので、集まる場所を作るという努力を続けていくことが大事だと思う。	井筒委員

主なご発言内容（令和8年度 第1回生野区区政会議 こどもの未来部会）

○ご発言に対して、改めて区役所より回答するもの

ご発言内容		委員名	区の考え方	担当課
支援を必要としている家庭への効果的な情報発信手法について	いろいろなインフォメーションを流す場として区役所を活用すべき。特に外国人住民で子育て中だったり、お子さんが学校に通っている方が、どんなことでもいろいろな相談窓口になっていったらいいと思う。	マヤ委員	情報発信の取組として、区役所ではホームページでの周知に加え、ポスターの掲示やチラシの配架を行っています。今後も、効果的な情報発信ができるよう区役所の活用を検討してまいります。また、令和8年5月より多文化総合相談窓口を設置し、外国人の区民の「聞きたいこと」「困ったこと」を伺い、相談内容を整理したうえで、必要に応じて担当窓口へおつなぎするなど、区民にやさしい窓口対応を行っています。	総務課 (区政推進)
	子どもからお年寄りまで幅広くつながりのある保健師がキーパーソンだと思うので、子育て層にいろいろアプローチができるような工夫がいるのではないかと。	足立委員	保健師は、地域担当制をとっており、子どもから高齢者までを対象に、地域の皆さまとともに健康づくりに取り組んだり、保健指導、感染症対策、母子保健、難病患者支援、精神保健福祉相談など、様々な業務を行っています。今後とも地域の皆さまのご意見をお伺いし、ご協力をいただきながら、保健活動のチームとして取り組んでまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
	地域とつながっている保健師さんにはとても感謝しているが、一人で複数の地域を担当するなど負担感が大きいのではと感じている。もっと地域に力を貸していただけるような働き方改革が必要ではないかと。	井筒委員		
	私は子ども食堂をやっているので通りがかりの人に声掛けしたりしている。また、他地域の取組など見学させてもらって良かったものは、自分の地域に取り入れたりしている。子育てに関するイベントを開催するにあたって組織する実行委員会については、簡単に組織できるものではないので、子育て支援団体に丸投げするのではなく、区役所としてきちんとリーダーシップをとってほしい。	足立委員	子育てに関するイベントについては、平成26年より区民のみなさまを主体とし、企画から運営までを担う「いくのっこ広場」を開催するための実行委員会が組織され、区役所も実行委員会の調整役として携わっております。実行委員会は子育て支援に関係する様々な団体・グループで構成されており、伝統を大切にしつつ新たな工夫も取り入れながら、より楽しいイベントとなるよう取り組んでいます。今後も各団体・グループと連携し取り組みを進めてまいります。	保健福祉課 (子育て支援)
	何人くらいの人たちが本当に困っているのか、またどういう立場・状況で困っているのかということをしっかり示してほしい。数として示していただきそれに対してしっかりアプローチしていくのが大事だと思う。今回のテーマについて、何に対しての支援をしていくのか、どこに目をむけたらいいのか多分その答えは出せないと思う。	浮田委員	子育て世帯の中には、子育てに不安や悩みを抱えているが、転入直後などで地域とのつながりも少ない方や、ヤングケアラーの問題やDVなど、当事者自身が「支援が必要な状況」と気づきにくく、家庭内にとどまって外部から把握されにくい課題を抱える世帯があります。また、ひとり親世帯、障がいのある保護者（または子ども）がいる世帯、外国籍の世帯など、必要な施策につながらず、支援を十分に受けられていない方がいます。	
	支援を必要としているターゲットは一体どこなのか、そのターゲットのために人とお金を投入できるのかということを明確に行政から示してもらわないと、今日の議論も単に「いい話ができたな」で終わってしまうと感じた。	安委員	このような方に相談先等の情報を提供し、必要な制度やサービスにつなげていければと考えています。	

主なご発言内容（令和8年度 第1回生野区区政会議 こどもの未来部会）

その他の主なご発言内容		委員名	区の考え方	担当課
中学生を対象とした区政に関する意見交換会について	中学生を対象とした意見交換会について、すぐには無理でしょうが、小学生などの意見も聞けるような場があればいいかなと思いました。	西村委員	区政に関する意見交換会については、令和6年度より実施しており、令和8年度については中学生を対象としたところです。次年度以降も意見交換会は実施していく予定であり、今後も対象のあり方について検討してまいります。	総務課 （区政推進）

過去の区政会議でのご質問に対する報告				担当課
「小学校の配置の適正化に関する検証報告書」について	6月23日に開催の令和8年第8回教育委員会会議において報告されました「小学校の配置の適正化に関する検証報告書」について、当日の会議資料が本市のホームページに掲載されておりますので、情報提供させていただきます。 （ホームページ掲載先） https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/cmsfiles/contents/0000682/682634/h24.pdf （大阪市「トップページ」→「くらし」→「教育」 → 各種メニュー目次「大阪市の取組み」 → 「令和8年第8回教育委員会会議」配付資料（報告第24号））			地域まちづくり課 （教育支援）